

平岡青空



*東京大学受験後、東京スカイツリーにて

松山東出身

小5から高3卒業までEPICKに在籍

ました。この段階では志望校の傾向や、解き方やテクニック的なことを学ぶというより、良質な英文にたくさん触れ、様々なタイプの問題に立ち向かい、文法や構文の知識を活かして多面的に英語力の基礎を養っていきました。高校3年生になると、ひたすら東京大学の過去問に取り組みました。前谷先生に英語の勉強方法について相談に乗って頂いたり、LINEで英作・和訳の添削をして頂いたりしたおかげで大学受験は共通テストの英語でリーディングで97点、リスニングで100点を取り、東大の2次試験でも英語で大きな手応えを感じることができました。

長文読解の定石

印象に残った授業はありますか？

文法・語彙、基礎力を徹底して1から最後まで走り切った
EPICKではどのように英語を勉強しましたか？
EPICKには小学5年生の頃から通っていました。小中学生の頃は英検に向けて授業をして頂き、中学2年で英検2級、高校1年で英検準1級を取得しました。毎週の単語テストに真剣に取り組み、EPICKで適切なレベルの長文問題に取り組んだことが英検合格だけでなく、基礎的な英語力の向上につながったと思います。中学や高校の授業や定期テストで困ったことはなく、テスト期間中でも他教科の学習にたくさん時間を使えたことも英語を突き抜けて学習したおかげだと思います。高校2年生からはいろいろな大学の過去問を授業で扱って頂き

EPICKでの東大2次試験対策では、苦手な大問に対するアプローチを1から徹底して教えて頂きました。私は東大の1Bがかなり苦手な大問でした。直感と和訳を頼りに穴埋め問題に挑戦していましたが、点数が取れる時と取れない時の落差が大きかったです。恥ずかしい話ですが、今振り返ると、最初はおそらくこうだろうな、などと我流というか、勘で解いていたと思います。初めてこの大問を授業で扱ってもらった時は、まさに目から鱗でした。何を根拠に、何を目印にどう英文に向き合っていくのか、長文読解の真髄をこの段階で徹底的に叩き込んでいただきました。過去問演習に入る前の段階で1文1文をいかに大切に、精密に読むかのトレーニングをかなり負荷をかけて行っていたので、その成果と長文読解の授業が自分の中で大きく噛み合って、1段階さらに英語力を上げることができました。当時英語力が頭打ちになっていたのですが、もつと読めるようになる！もつと英語力を高められる！大きな可能性を感じワクワクしたことを鮮明に覚えています。

在籍している中高生へ

最後に一言お願いします。

長い間本当にお世話になりました。前谷先生のおかげで英語が得意になったのはもちろんですが、週に1回EPICKに来て先生と話すのが最高に楽しくて受験の息抜きにもなっていました。本当にありがとうございます！！どんなに学校や部活が忙しくても単語だけは毎日少しでも時間をとって頑張りました。塾の課題をしっかりこなしていけば着実に成果が出ます。EPICKに在籍している生徒さんには先生を信じて全力でついていってほしいと思います。東大に行ってもEPICKで学んだことを基礎に、さらに英語を磨いていきます！



*東大合格後、EPICKの新中1生の集団授業にて講演会